

# 町民の声

那須町大日向地区

ひら た ひろし  
平田 寛 さん



## 那須野ヶ原の「日新」の風について

那須と会津は古くから往来があり、小生はこの両方を故郷として80代の晩年を那須で迎えて居ります。今日はこの両者の教育をかいまみたいと思います。

戊辰戦争で敗者となった会津藩は下北半島に三万石の斗南藩として移送され、更に廃藩置県により消滅しました。多くの藩士が路頭に迷う中、旧会津藩士野村木哉〔文政12年(1829)～明治24年(1891)〕は「今後の世の中は教育にあり」として県に「開学願書」を出し、「日新館」(旧鍋掛小学校)として正式に開校しました。其の後、地元の篤志家と協力し那須野ヶ原に多くの小学校を開校し、「日新」の精神と心意気を広めていきました。後に猪苗代小学校にも奉職し、野口英世の恩師として名高い小林栄先生とも一緒に勤務し、晩年は湖南町馬入に居住し、地元の人に教育を施し、この地で亡くなりました。各学校にはそれぞれに歴史があり、そこに携わった人々の強い意志があります。

今後の学校を考える上での一考になれば幸いです。

## 傍聴席



穂積地区

かじ ひら み き  
藤平美樹 さん

令和3年2月26日那須町議会で「手話言語条例」が可決され、4月1日から施行されました。この条例がスタートすることで「手話は言語」という認識で、手話を広め普及に努力をすれば、町民や医療関係者、事業所なども手話への関心を持ち、手話を学ぶ機会も増えていきます。また観光で訪れる。ろう者の方も【コミュニケーションの壁もなく安心して自分らしくいられる那須町】となれば、将来移住なども増えるでしょう。また聴覚障がい児であってもコミュニケーションボードなどを活用することで、誰もがスムーズなコミュニケーションの機会や可能性が広がります。私は、自分の気持ちを伝えるのが難しい子どもが意思を伝える方法として、手話という言葉で通じ合えると思います。教育の中で手話を普通に学べる環境がほしいです。那須町に暮らしている全ての方に、手話の理解と普及を期待し、那須町が今後、手話が飛び交う町となることを強く願っています。

## 6月の定例会(予定)

6月 4日(金) 定例会開会

6月 7日(月) 一般質問(第1日)

6月 8日(火) 一般質問(第2日)

9日(水)

10日(木) 常任委員会

14日(月)

15日(火) 予算審査特別委員会

17日(木) 定例会閉会

## 議会を動画で見よう。

3月本会議の様様をインターネットで録画配信を行っています。



那須町議会中継

検索



## 議員全員協議会傍聴のご案内

開催 (5月から6月)

予定 5/28・6/28

時間

9時～

※開催予定は変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

表紙の写真

待ちに待った小学校！ピカピカのランドセルを背負って元気に登校する姿が目には浮かびます。

議会広報特別委員会	
委員長	平山 輝貴
副委員長	関 幸夫
委員	高橋 幸夫
委員	田村 浪行
委員	木村 秀一

委員長 平山 輝貴

新緑の季節を迎えて、日々の景色が色鮮やかに移りゆきます。コロナ禍にあっても、悠久の自然は何事もないようにそこにあり、私たちの心を和ませてくれていきます。広報委員会も2年の任期が終了し、新たな体制となりました。私がかこれまでの活動で学んだのは、広報委員会は議会だよりを発行するだけの機関ではない、議会の活性化、議会と町民とのつながりを深める上で、大きな役割と可能性があるという事です。

私たちにとって議会だよりというメディアは大きな武器であり、その力を活かすには、読者に手に取って読んでもらう事が重要になります。新たな試みとして、体験型取材に取り組んでまいります。我々が町のサービスマスターを実体験し、検証する。聴くだけでなく体で感じる。それを発信し、みなさまと課題を共有できればと思います。また、武器は使い方を間違えれば逆に代償を支払う事になります。公平性、客観性、情報管理に十分留意して、より良い広報・広聴活動に努めます。

## 編集室

本紙はボランティアの協力により音訳版を作成しています。詳しくは議会事務局まで問合せください。